

# 富士見小だより



富士見小 HP

学校教育目標 「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」  
校 訓 かしこく やさしく 元気よく

上尾市立富士見小学校 上尾市柏座 4-3-8 電話 048 (771) 0505

令和7年12月 1日

発行責任者

校長 吉田 充

## 12月 ～学校生活と学習のまとめの月～

校長 吉田 充

早いもので、今年のカレンダーも最後の一枚になりました。1年で最も長かった2学期は、校内音楽会や校外学習、6年生は修学旅行や陸上競技大会など、多くの学校行事が行われました。様々な教育活動に対し、子供たちは前向きな気持ちで一生懸命取り組み、その成果を存分に発揮することができました。

2学期を振り返ってみますと、生活面では、あいさつを中心に、基本的な生活習慣や、規律ある態度の定着に努めてきました。また、清掃活動では、「もくもく清掃」（黙々清掃：おしゃべりをしないで掃除に集中して取り組むこと）を合言葉に取り組んできました。私も時々玄関・昇降口を掃除しながら様子を見ているのですが、子供たちは靴箱の中のごみを一つ残さず掃いてふき取り、最後は一人一人の靴をきちんとそろえてくれます。そうした姿からも、子供たちは集団活動を通して役割や責任を自覚し、協働しながらよりよい学校生活を築こうとする意識が育まれていると感じています。

学習面では、基礎的、基本的な知識や技能の定着と併せて、思考力や表現力の向上のために授業を改善することに努めています。具体的には、「考えを書く」「発表をする」「話を聞く」機会を大切にすることや、ICT端末と黒板・ノートのそれぞれのよさを生かす（デジタルとアナログのベストミックス）ことで、学習がより主体的で、対話的なものになるよう取り組んでいるところです。埼玉県学力学習状況調査では、学力を伸ばした児童の割合が、埼玉県や上尾市の平均を上回っていることから、成果は着実に表れているものと受け止めております。

こうした様々な教育活動を通して、子供たちは目標をもって一生懸命学校生活を送っています。ここで2学期の成長を振り返り、できるようになったことはもっとよくできるように、できなかったことは少しでもできるようにして、冬休みを迎えさせたいと考えます。

12月は2学期のまとめの時期です。2学期の始業式では、子供たちに「目標をもっていろいろなことにチャレンジしよう」という話をしました。また、前号でも書きましたように、子供たちには結果のよしあしだけでなく、チャレンジする過程の中で、うまくいったりいかなかったりを繰り返しながら、自律的に生きる力を身に付けさせたいと考えています。どうぞ、ご家庭におかれましても、継続して取り組み、習慣化していることや、たとうまくいかなかったとしても、自分なりにチャレンジしたことについては大いに認めることで、達成感や自己肯定感を育んでいただければと思います。

結びに、これまで子供たちが明るく元気に学校生活を送ることができましたのも、保護者、地域の皆様方による温かなご支援、ご協力のおかげと深く感謝申し上げます。登校日数残り18日、楽しい冬休みに向け、一日一日を有意義に過ごすことができますよう、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。